

# ばうむ

【baum】  
vol.14

中・高・大学生が主役！

～大きくなっても続く、地域とのつながり～

「ことり」と呼ばれる中学生から大学生の有志が子どもたちのために活動しています。大人は「おやどり」と呼ばれ、ことりの活動をサポートしています。季節に合わせたイベントなどを子どもたちに向けて企画し、当日はことが中心になって楽しい居場所を提供します。

地域に中学生以上の子どもの活躍の場があることで、子どもたちは自分で考えて行動し、地域の一員として自分たちのまちをよりよくしていく大切な存在になっています。

今回はみんなで

シュークリーム屋さんに挑戦するよ！

いらっしゃいませ！

一緒にクリームを詰めよう！

店員さん

お客様

手袋付けるの手伝うよ！

＼楽しそうな母の背中！

ちょっと手伝ってから始まる活動デビュー／

ことは約3年前、代表である森さんの、「子ども会で仲良くなった子たちが、会を卒業して、つながりが薄っていくのはもったいない」という思いから始まりました。お母さんたちが、「ちょっと手伝ってくれへん？」と呼びかけて、ことが集まりました。やってみようの気持ちを後押ししたのは、お母さんの楽しそうな姿と、子ども会でできた仲間の存在でした。

ことりの皆さんに話を聞くと「小さい子と関わる機会ができる、かわいくて新鮮！」、「こんな活動は他で聞かない。いい経験です！」と笑顔でそれぞれの思いを教えてくれました。



## 【活動紹介】 ことり

活動日 毎月第1日曜日10時～、その他  
場所 宝塚市共同利用施設山本台会館  
(山本台1-13-3)

【発行】宝塚市・宝塚市社会福祉協議会

【デザイン・編集】中嶋心春

【お問合せ】宝塚市社会福祉協議会

住所：宝塚市安倉西2-1-1 TEL：0797-86-5003



# 地域活動で深まる親子のキズナ



ここりは親子で参加している方が多く、一緒に活動することで親子の会話が増え、お互いの息抜きにもなっているそうです。

また、活動することりたちの姿を見守るおやどりにとっても、成長を感じられるこの地域活動が、親子関係にも良い影響をもたらしています。



「子どもから、ことりへつながって、みんなで地域の子どもを見守っていきたい。ことをもっと増やして、子どもの企画を大人が応援していきたい。」と森さんは話されます。ことりたちも「学校で学んだことを活かして、自分たちで企画からやってみたい。」と、おやどりの思いは、しっかり伝わっていました。

子どもたちも、優しいことりの姿を見て、大きくなったら、ことりのお姉さんお兄さんみたいになりたいという思いをもつのでしょうか。

## たからづかのおたからさん

西根千鶴さん  
親子会エルフ



親子会エルフは、親子の居場所づくりや子育て相談など、子育て支援活動を行っています。  
NPO法人とボランタリー活動の両輪で活動中です！



「活動に来た子どもたちをご機嫌にして帰すことが私の役目です」と子どもたちと同じ目線で笑いあっている、ちーちゃん。エルフで、あー楽しかった！とご機嫌に帰った子どもたちは、兄弟にやさしく接してくれるそう。親でも先生でもない、第三者の大人だからできる子どもへの関わりについて話してくれました。

ちーちゃんはあえて正しくないことを言います。「そこに価値があるんですよね～」と話されます。「宿題嫌だあ」と言わわれれば「サボっちゃう？」と笑い返します。それを真に受ける子はいませんが、その完璧さを求められない関係性に、子ども達はホッとするようです。少々行儀が悪くても叱られないので子ども達はのびのびしています。

「夏は卒業生も行事を手伝いにきててくれた」と嬉しそうなちーちゃん。親子会エルフはこの秋で19年目に突入されます。

